

JASAフィールドワーク



2020年のスタートに当たり、組込み業界を展望すると、自動車関連事業は、ADASなどのコアコンピタンスを担当している企業はさばききれない仕事があり、一方、コーディング中心の企業は、峠を越えて、次なる一手を繰り出す時期になっています。

半導体においては、オープンハードウェアの時代になり、チップの開発からシステムの開発、さらには、デファクトスタンダードの陣地争いで、ビジネスモデルを含めたバトルが勃発すると考えられます。今回は、各地方支部長に、地域的な状況と、今年の抱負を語ってもらいます。

支部長、今年の抱負を語る



北海道支部

HISホールディングス(株)
森 操

・支部としての新年の抱負

新年明けましておめでとう御座います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

会員企業のみならずにおかれましては日頃より支部活動への多大なご協力ありがとうございます。支部長を拝命しまして約6ヶ月が経ちましたが、まだまだ支部活動といえる活動が出来ないまま2019年が終わり、新年を迎える事となりました。

2020年は、支部会員を増やし支部としての活動が出来る様に邁進する所存で御座います。ご支援・ご指導の程、よろしくお願い致します。

・2020年の景気見通し

第4次産業革命と呼ばれる中で、新しい技術、新しい仕組が一段と加速する中で、若干の上昇が見られると期待しています。

・支部長のチャレンジ目標

会員を増やし支部として機能する様にします。セミナーも最低年1回行う。



東北支部

(株)イーアールアイ
水野 節郎

・支部としての新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

東北支部の今年の抱負は、一にも二に会

員加入を促し、支部会員にとって、JASA会員であることのメリットが享受できるような活動を行う

- ・本部、他支部との交流・支部会議の活性化による各社の事業拡大
- ・本部での各種活動を支部にて紹介頂き、支部会員の今後の活動に活かす
- ・他団体とのコラボレーション

これまでも、マシンインテリジェンス研究会(MITTOOS)との合同勉強会を行ってきたが、他団体(いわて組込み技術研究会等)との連携をより強くし、支部活動の活性化を図る。

・2020年の景気見通し

2020年は前年の景気後退から、回復基調になると予測され、東京オリンピックもあり、景気回復のなか、自動車産業は自動運転等の技術革新がますます進み、さらなる電子化の需要は増し、我々の産業界は需要が旺盛であると確信する。

また、多様性の時代、IoTイノベーションはDX時代に沿ってAI技術活用やクラウド化などが益々進み、チャンスがチャンスと呼ぶような革新の進むと考えられる。それを活かしたい。

・支部長のチャレンジ目標

この多様性の時代に

1. 本JASA活動に新たなイノベーションにつながる活動を発案・提案したい(技術追求かソリューション追求か?)
2. 自社の事業として新たな事業創造(新たなビジネスモデル)が始められたらと考える

・支部としての新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。



関東支部

(株)コア
神山 裕司

2020年、令和2年の幕開けです。イチゼロのデジタルから、さらに進化した20202の世界、「第2幕」が始まります。

昨年公表された「デジタル時代の新たなIT政策大綱」のテーマである「サイバーとフィジカルの融合」が、今年は深まってまいります。自動運転/医療/農業などのフィジカルな「現場力」は、IoT技術を通じてサイバー空間と繋がります。

特にフィジカルとサイバーの「融合」は、正にJASAの強みを発揮できる分野です。JASAは「技術」協会ですが、この流れを追い風に「相互ビジネスの発展」に寄与していきたいと考えます。

・2020年の景気見通し

この夏の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、景気拡大を期待しています。

・支部長のチャレンジ目標

関東支部は会員数が最も多い一方で、支部会議に帰属意識を感じ積極的に参加頂ける場とすることが、課題と考えております。年間を通じて、1度でも支部例会に参加される会員企業を100%にすることが目標です。本年もよろしくお願い申し上げます。

・支部としての新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

中部支部は、安定した産業基盤に支えられた地域にあり、支部活動についても会員に定着しています。今年は、時代が新たに令和になり、安定した時代から変動や変革を求め



中部支部

(株)サンテック
青木 義彦

られる時代になると思われます。JASA中部支部の活動もそんな時代に対応して、会員の新たなニーズに応えるものにしていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

・2020年の景気見通し

昨年は各種の統計指数において少しかり停滞や下降気味を伝えていましたが、政府広報では引き続き拡大基調のようでした。しかし、米中問題が長引いており製造業が中心の中部支部の地域は総体的に後退感がありました。

改めて2020年を考えると、IT/ICT関連業界では新しいテーマが続々と挙げられていて期待を持てる所が大きいです。少子高齢化が進んで人出不足が深刻化する中で、これらの新たな技術革新テーマがJASA企業の好材料になって行くことを願っています。

・支部長のチャレンジ目標

支部長として2年目を迎えて、これまでの活動を如何に深化させるかを考えて、会員増強と会勢の拡大に繋げて行きたいと考えています。

そのためにもET/IoT NAGOYAなど他団体との協力関係も生かして会の認知度を上げて行きたいと考えているので、多くの会員からのご支援やご協力をお願いします。



北陸支部

(株)アフレル
小林 靖英

・支部としての新年の抱負

高等教育機関、研究機関、地域業界団体、行政機関との連携を深め、産学官での技術交流、人材育成に向けた活動の活発化を図る。

・2020年の景気見通し

キャッシュレス、RPA、オンラインマーケット等のサービスにおける仕組み転換が大きく進み、サービス業でのシステム投資、人材投資の拡大が見込まれる。

・支部長のチャレンジ目標

IoTイノベーションチャレンジ等、技術と経営人材育成イベントの参加者、協力者を拡大する。



近畿支部

(株)Bee
塩路 直大

・支部としての新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

2020年をひとことで表現するなら、やはりオリンピック・イヤーということになると思います。昨年のラグビー・ワールドカップでは私も"にわかファン"を満喫いたしました。あの熱狂と興奮がまた今年、多く味わるのではないかと胸を躍らせております。

さて、東京ではオリンピックが開催されますが、近畿では2025年に大阪・関西万博の開催が決定しております。2020年はオリンピックを楽しみつつも大阪・関西万博を見据え、これに繋がる活動と、近畿圏の発展に寄与していきたいと考えております。

・2020年の景気見通し

近畿圏の経済状況は決して楽観できるものではなく、世界経済の影響を受けながら推移していくものと思われます。またオリンピック・パラリンピック終了後に、如何にシームレスな万博景気に繋げられるかが肝になってくると思います。全体的には少しの成長と予想しております。

・支部長のチャレンジ目標

近畿支部では会員企業に取って"使えるJASA"を目標とし、本部事業展開、人材育成、全国展開、会員増、団結力強化という5つの重点課題を設定し本年度の事業に取り組んでおります。これらの取り組みについて各会員から確実な評価をいただくことと、"使えるJASA"であると感じていただけることが私の目標となります。

近畿支部はさまざまな点においてオープン

あとがき

2025年の崖がまだ先かと思いがちですが、現在の工場、生産設備、業務プロセスなどの刷新には時間がかかります。さらに、モノづくりからコトづくりで、生産管理だけ考えればよかった時代から、マーケット、開発、

でありたいと考えております。いつでも近畿支部にお越し下さい。ねずみ年も待ってんで～



九州支部

(株)エフェクト
光安 淳

・支部としての新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は九州支部の活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年も、九州支部活動を盛り上げる一環として5度目となる『モノづくりフェア2020(九州)』に出展します。これらの展示会を通して総合的にJASAをアピールしプレゼンスの向上を図るとともに、九州支部の地域に根ざした活動を推進して参ります。さらに、九州支部会員であることのメリットが享受できるよう推進し、九州支部会員数拡大を目指します。

・2020年の景気見通し

高度な開発技術、特殊なスキルを習得している技術者が年々減少傾向にある地方にとって、2020年の東京オリンピック開催は、地方にとっても景気回復を期待させると共に、人材育成や、若手のみならず熟練技術者の人材確保においても非常に貴重なチャンスになると捉えられています。

・支部長のチャレンジ目標

九州には「九州IT融合システム協議会(ES-Kyushu)」、「NPO法人QUEST」、「熊本県社会・システムITコンソーシアム(ES-KUMAMOTO)」をはじめとして、組込みシステム関連で多数のコミュニティが存在しています。

本年も、九州地区内コミュニティとの連携を通じて、九州全体の活性化・技術力向上を目指すと共に、JASA会員企業数拡大を推進して参ります。

何卒、本年も変わらぬご協力・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。